

二の丸東側土手の災害復旧工事について

工事期間：平成 29 年 11 月～平成 30 年 2 月（青葉区公園課が担当）

被災原因：平成 28 年 9 月 8 日から 9 日にかけての大雨（総雨量 132.5 ミリ、1 時間あたり最大 31.5 ミリ）

表面水の排水機能不足、大雨時の湧水処理機能不足

工事内容：法肩の排水管の更新、法面の縦排水管を新設、法面盛土内に暗渠管を埋設

※並行して施工していた公園整備で、園路をかさ上げし法面への水の流れを抑制した

備考：平成 22 年 12 月 22 日にも土砂崩れが発生（総雨量 128.5 ミリ、1 時間あたり最大 41 ミリ）

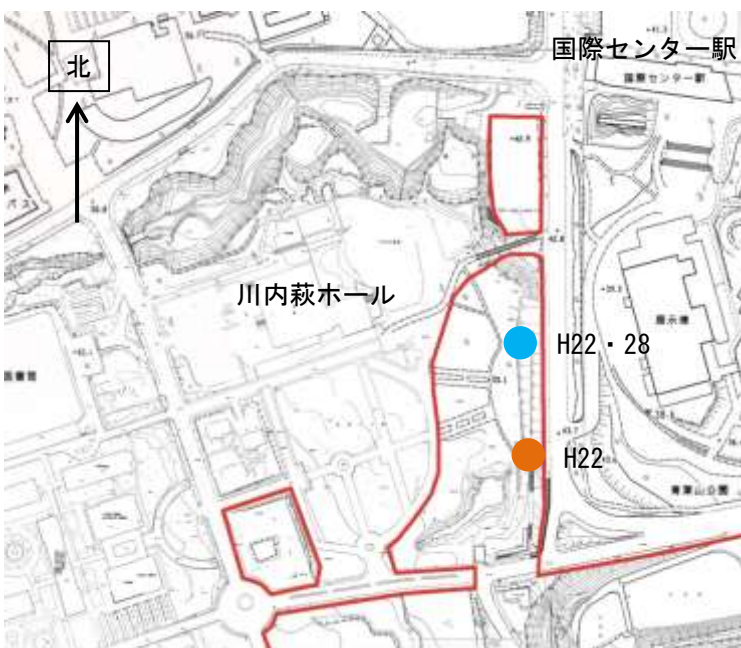


図 1 被災位置図（赤線内は史跡指定地）



図 2 被災状況

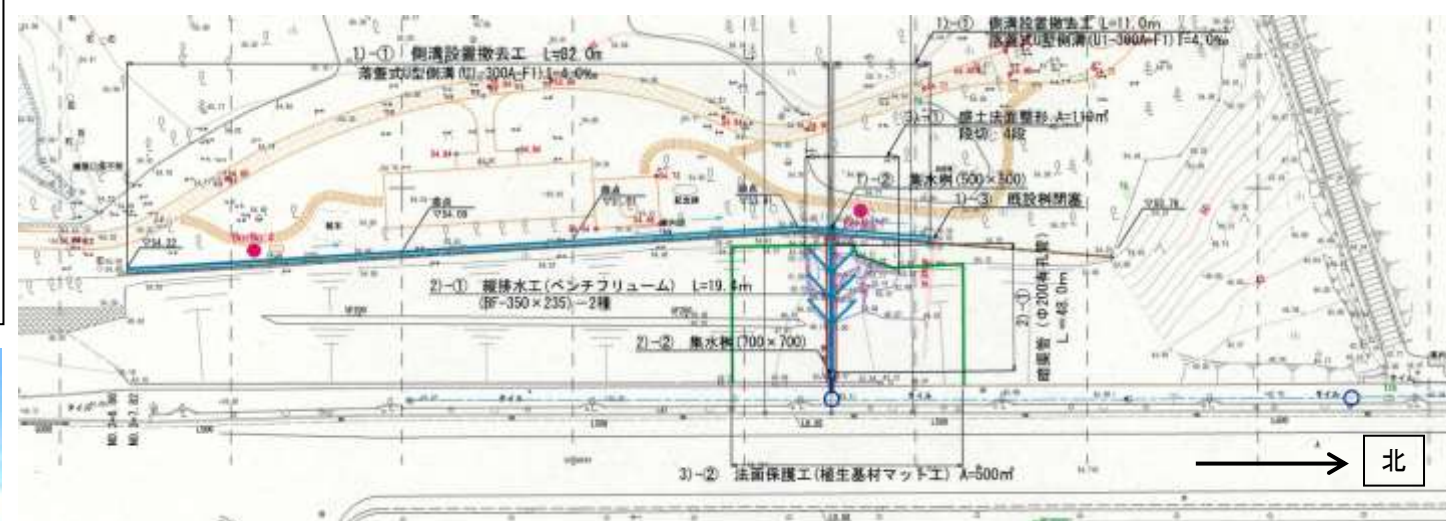


図 4 工事平面図（青線が更新、新設の施設）

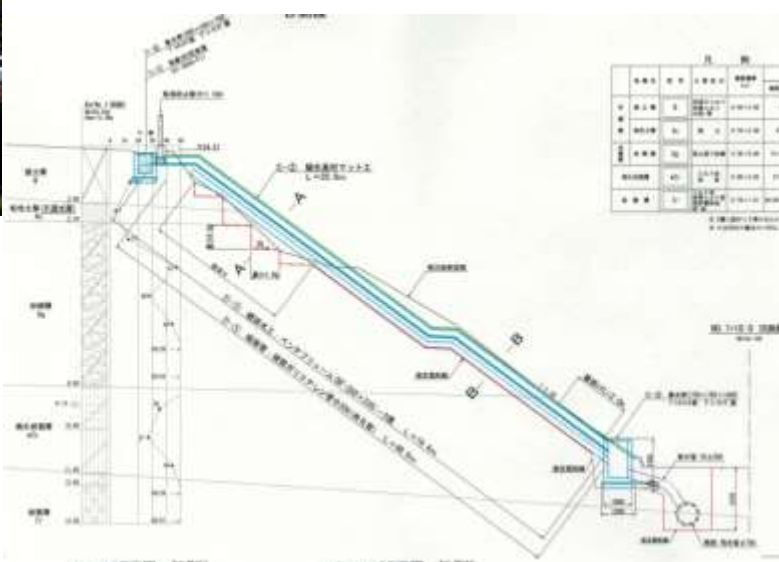


図 5 工事標準断面図



図 6 工事状況

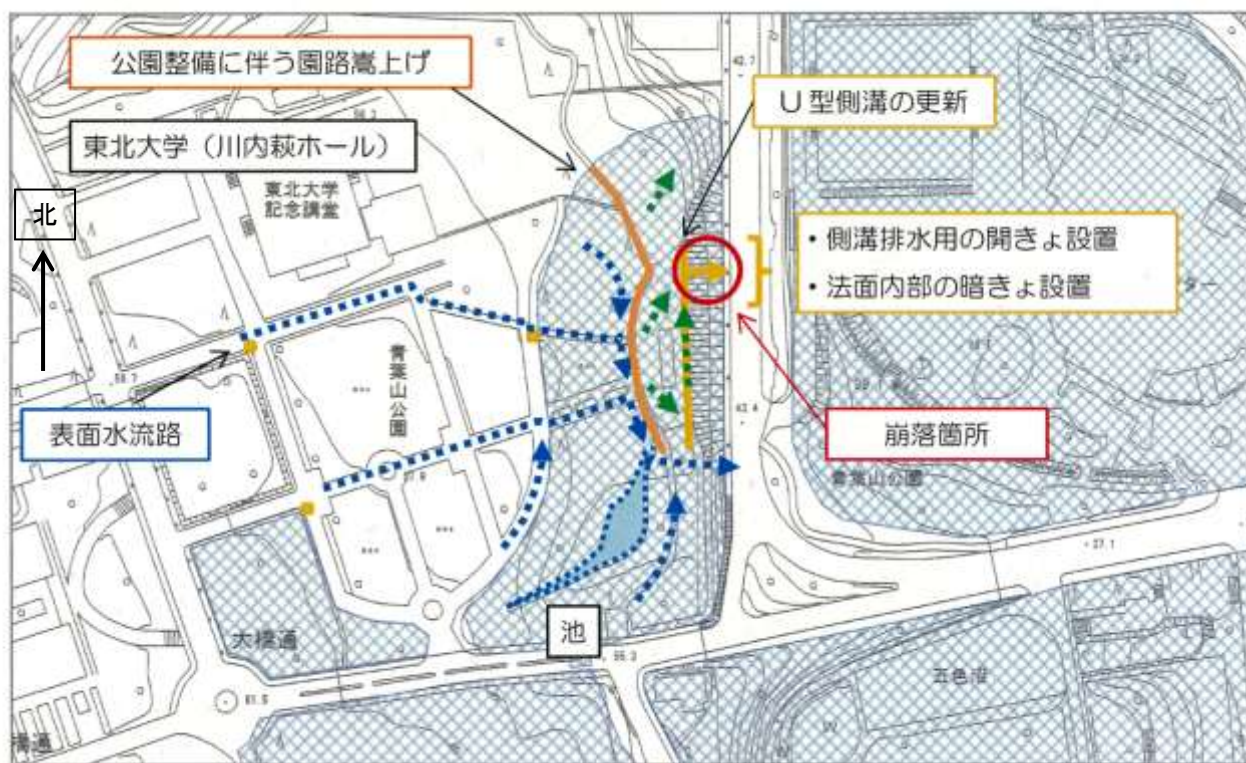


図 3 対策の考え方



図 8 完成状況



図 7 法面の盛土内部から見つかった古い擁壁（コンクリ使用）

（参考：江戸時代の修復履歴）

○二丸大手北土境之石垣：[修復許可] 1681（天和元）

○二丸用所東之方堀下土手：[修復許可] 1717（享保 2）、1728（享保 13）、1730（享保 15）

[普請窺] 1707（宝永 4）、1721（享保 6）